

平成 29 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	本郷児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市青柳町5丁目24番地1		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	15,644,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄骨造平屋建 ◇敷地面積:1,468.33㎡ ◇延床面積:488.78㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室兼集会室、おもちゃ図書館、事務室、駐車場		

●利用状況

		H29上半期	H28下半期	H28上半期	H27下半期	H27上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	10,280	8,624	9,688	8,594	10,512
	移動児童館利用者数	307	475	386	440	313
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	13	15	11	11	10
	開館日数(単位:日)	157	151	157	151	156

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画どおり実施。 ②所長(常勤)、常勤職員2人(児童厚生員は所長を含め3人)。 ③児童センター便りを毎月発行し、担当エリアの小学校に配布。未就園児用の便りを毎月と学期ごとの2種類発行。館内に行事の案内板を作り掲示、児童センターと法人のホームページに掲載。新1年生や親子ふれあい教室の参加者には利用案内を配布。 ④利用者アンケートの意見については、マニュアルに従い対応。アンケート結果については館内に掲示。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①、④適切に実施 ②障がい者就労支援事業施設清掃班による清掃を週2回実施。それ以外は職員が清掃を実施。おもちゃ等の消毒も定期的実施。 ③使用していない部屋の照明やエアコンの節電、エアコンの適正温度での使用を実施。節水の実施。リサイクルの活用。 ④おもちゃ病院のボランティアによる定期的なおもちゃの修繕。ビリヤード台や施設内のペンキ塗りは職員が実施。その他部品交換などできる簡単な修繕は職員が実施。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①、②修繕を要する事態が生じた場合は迅速に対応する。大規模な修繕については、指定管理者(本部)及び市に要望を提出。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③マニュアル等に沿って適切に実施。 ②毎月1回の防災訓練の実施。本郷校区の地域防災訓練に参加。

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>【幼児クラブアンケート】 平成29年7月7日～7月14日に幼児クラブ参加の保護者59名にアンケートを実施。 回答数58人(回収率98%)</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>【幼児クラブアンケート】 ○職員について ・あいさつ 満足51人、ほぼ満足5人、普通2人 ・言葉遣い 満足51人、ほぼ満足6人、普通1人 ・対応 満足52人、ほぼ満足4人、普通2人 ○施設について ・整理整頓 満足48人、ほぼ満足8人、普通2人 ・使いやすさ 満足49人、ほぼ満足7人、普通2人 ○意見等 (登録制クラブ参加の方のご意見) ・毎回楽しかったです。いつもありがとうございます。・対応も丁寧で優しく、居心地がよいです。 ・準備して下さるものが素敵でした。・細やかな準備と心遣いにいつも感謝しています。 ・毎回、子どもと一緒に楽しめる内容でうれしかったです。等 (自由参加のクラブ参加の方のご意見) ・自由参加なので、気軽に参加できるのはありがたい。・楽しく利用しています。 ・家ではなかなかできない遊びが楽しそうでした。・工作もとても簡単でかわいくできるのが嬉しい。 ・ボールあそび、運動遊びが楽しかった。もっと体を動かすひろばがあったら参加したい。等</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>・ 駐車場がもう少しあると助かる。 ⇒申し訳ありません。他に借りられるところもありませんので、運動場に駐車をお願いします。</p> <p>・ 駐車場が少し狭い。 ⇒ご不便をおかけしております。大きな車を駐車される場合は、運動場の方へ駐車をお願いします。</p> <p>・ 保護者の方がおしゃべりに夢中で子どもをほったらかしにしていることがたまにあるので気になる。おもちゃを片づけないとか。 ⇒申し訳ありません。幼児クラブ等で保護者用の便りに「おねがい」として掲載してあるのですが、一部の方に徹底していないようです。今後もお子さんを見ていただくように声をかけていきます。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	A	A	A
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	A	A	A
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	A	A	A
		⑤利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	A	A
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		区分評価			A	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価			A	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		⑬リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価			A	
区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	A	A	A
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
		区分評価			A	

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組みに対する評価</p>	<p>□新規事業について 母親クラブの協力で地元の方を講師に幼児親子対象にパン教室の食育講座を2回実施した。パーソナルカラー診断(自分に似合う色、似合わない色の診断)を実施したいと要望があり、講師を招いて実施した。</p> <p>□ボランティア募集について 明郷・岐阜・徹明さくら小学校高学年、岐阜中央中学校や岐阜高校に呼びかけ募集を継続的に行った。母親クラブや運営委員にもボランティアの協力を呼びかけた。</p> <p>□地域とのつながり 京町保育所や沖ノ橋認定こども園からの子育てに関する情報の提供をした。障がい児ディサービスに児童センターを利用してもらい、小学生と一緒に遊び、交流した。本郷校区自治会主催の地区防災訓練に参加し、地元の人との顔つなぎをはかった。またHUG訓練を実際に経験し、避難者の対応をどうすべきか学ぶことができた。</p> <p>□ボランティアの活躍について 児童ボランティアに野菜を育ててもらい、幼児親子に収穫体験や小学生には収穫とそれを使った食育を行った。また毎年恒例の夏まつりや春休み、夏休みの長期休暇に工作やドッジボールなどのスポーツを小学生が楽しめるように、協力してもらった。</p>
<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<p>□岐阜市社会福祉事業団内の会議、研修で、ノウハウ、情報の共有化や意思統一などを行った。</p> <p>□岐阜市社会福祉事業団の法人ホームページと児童センターのホームページから本郷児童センターの毎月の便りが見られるため、より広く利用者へ広報ができるようになった。アンケート調査で事業に何を見て参加したかの質問に対し、58名中10名の方が、ホームページを見てと回答された。子どもの年齢が低いほどその傾向にあったため、ホームページの定期的な更新と状況に合わせた更新をより密にしていきたい。</p> <p>□小学生に対しては事業後に感想を聞いたり、次に何がやりたいか希望をたずね、事業に生かした。</p> <p>□各校区の青少年育成市民会議主催の親子ふれあい教室や移動児童館で児童センターの案内や便りを配布し、事業内容を説明し、移動児童館や児童センターの利用促進を図った。</p> <p>□明郷、岐阜、徹明さくら小学校の新1年生対象に、児童センターの場所が分かる利用案内を小学校に協力してもらい配布し、児童センターの活動のPRをした。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>□子育て支援や健全育成事業に力を注ぐために、職員は今後も研修に参加し、利用者の求めているものに応えられるようスキルアップを図っていく。</p> <p>□母親クラブや運営委員にもさらに声をかけ、地元住民のボランティアの受け入れを行い、児童センターとしての事業に不足する部分がないように協力をしていただく。</p> <p>□健全育成事業では、下半期に岐阜工業高等専門学校(高専)の先生と生徒による「サイエンスアトリエ教室」を実施する計画があり、専門家による科学工作を行うことで、児童が理科を身近に感じられるような事業を実施する。</p> <p>□大人や中高生のボランティアを継続的に受け入れ、事業に協力をしていただく。</p>

●所管課の意見

<p>毎月の児童センターのおたよりを担当小学校へ配布のほか、公民館や保健センターに利用案内の配置、ホームページのこまめな更新を行うなどの広報活動を行った。</p> <p>移動児童館について、上半期13回開催し、仕様書による目標数値の24回/年(平均2回/月)に向け順調に達成しており、下半期も引き続き行って頂きたい。</p> <p>「おもちゃのひろば」、「バランスボール」、「リトミック」や母親対象の「mama'クラフト」を引き続き開催するほか、幼児クラブにおいて、参加する母親の意見を多く取り入れ、子どもの足型を使った工作や写真を使った缶バッジ作りを実施することにより、乳幼児親子の利用者増につながっている。</p> <p>今期台風の接近が相次いだが、所管課との連絡調整による閉館・休館等の適切な対応と、利用者や学校への事前通知など自発的な安全対策により、利用者の安全を確保し、事故無く管理運営を行ったことを評価したい。</p> <p>職員体制や経営状況については、問題なく運営が行われている。</p>
--

●指定管理者評価委員会の意見

<p>移動児童館について、今期13回開催されており、児童館の無い地域の利用促進に努めていることを評価したい。</p> <p>他の児童館で行っている父親向けの子育て支援事業は、父親の育児参加を積極的に促す取組みとして非常に有意義であると考えられることから、今後積極的に他の児童館でも取り入れて頂きたい。</p> <p>管理運営は適正に行われており、良好と認められる。</p>
--